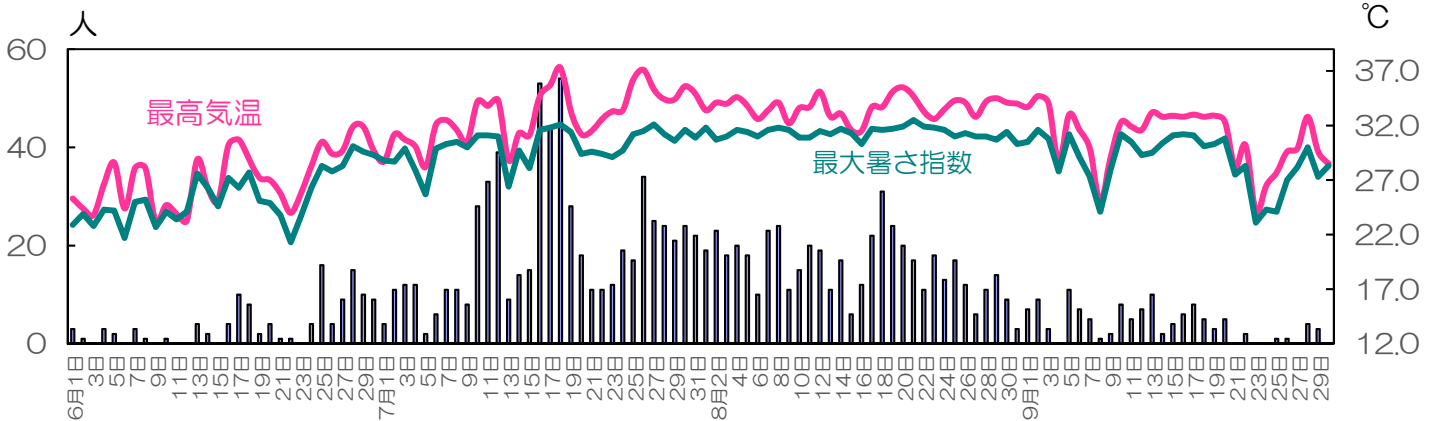


熱中症情報

<搬送数>

令和5年5月1日～9月30日までの搬送数（消防局データを使用）は、計1,399人（5月37人、6月117人、7月632人、8月494人、9月119人）でした。7/14～9/3までは、最高気温30℃以上、暑さ指数28℃以上と厳しい暑さが続きました（7月18日は、最高気温37.3℃・暑さ指数32.1℃で、54人）が、9/21以降は、最高気温30℃以下の日が多く、搬送数も4人以下/日となり、減少しました。



10月になっても、最高気温が30℃以上の日がありますので、こまめに水分を取り、室温を適切に調節し、暑さから身を守りましょう。体調を崩したりする事がないように、気をつけてお過ごしください。

暑さ指数とは？人間の熱バランスに影響の大きい①温度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「環境省熱中症予防情報サイト [暑さ指数\(WBGT\)とは？](#)」をご覧ください。

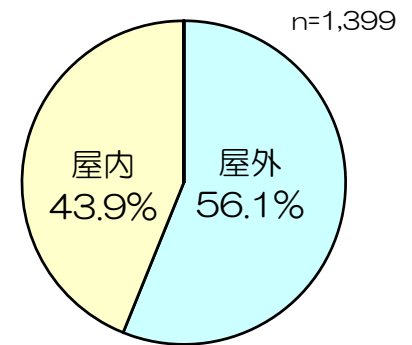
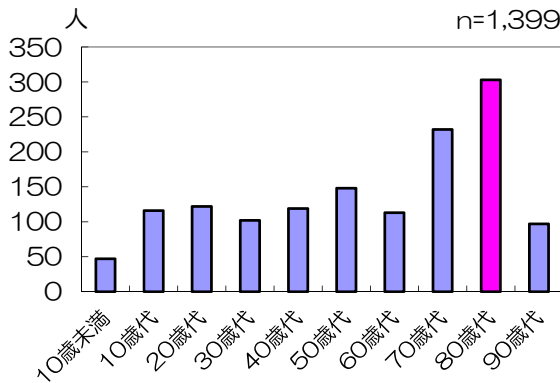
以下のグラフのデータは、5月1日からの累積搬送数です。

<年齢別>

80歳代が303人（21.7%）で最も多く、次が70歳代で232人（16.6%）でした。

<発生場所>

屋外56.1%、屋内43.9%で、屋外での発生が多くなっています。



<重症度>

軽症61.9%、中等症35.2%、重症2.4%、重篤0.5%でした。高齢者（65歳以上）の中等症以上の割合が53.3%と、高くなっており、高齢者に重症化する傾向がみられます。

